

第2期八王子市文化芸術ビジョン(素案)についての 意見募集(パブリックコメント)の実施結果

1 パブリックコメントの概要

(1) 募集期間

令和7年(2025年)12月15日(月)から令和8年(2026年)1月15日(木)まで

(2) 意見をお寄せいただける方

ア 市内在住・在勤・在学の方

イ 市内に事務所・事業所を有する個人及び法人、その他の団体

(3) 資料の配布・閲覧場所

学園都市文化課窓口、各文化施設(芸術文化会館(いちようホール)、市民会館(J:COMホール八王子)、南大沢文化会館、夢美術館)、学園都市センター、桑都日本遺産センター八王子博物館、市役所本庁舎1階市政資料室、各図書館、市民部各事務所、各市民センター

(4) 提出方法

郵送、FAX、電子メール、WEBフォーム、学園都市文化課窓口への提出

2 意見の集計結果

(1) 提出者数及び意見数

提出方法	件数
(1) WEBフォーム	8件(5名)
(2) メール	0件(0名)
(3) 郵送	0件(0名)
(4) 窓口	1件(1名)
(5) ファックス	1件(1名)
合計	10件(7名)

(2) ご意見の要旨及び市の考え方

次ページのとおりです。なお、いただいたご意見は、趣旨を踏まえて要約しています。

「第2期八王子市文化芸術ビジョン(素案)」へのご意見の要旨及び市の考え方

NO	項目	ご意見の要旨	市の考え方
1	方向性について	子どもには様々な分野の優れた芸術作品を目にする機会を与えたいと考えている。都心まで行かなくても身近な地域で文化芸術を感じられる機会を創出しようとする方向性はよいと感じた。	文化芸術の担い手育成や、子どもたちの創造性や社会性を育むために、優れた文化芸術に触れる機会の創出は重要と考えています。本ビジョンの方向性 2「そだてる」に「子どもたちが多彩な文化芸術に触れる機会の提供」を施策の一つに位置付け、地域や学校等へのアウトリーチ事業などを通じて、身近な場所で文化芸術に触れられる取組を推進する計画としています。
2	方向性について	市民にとってアートが身近に感じられるよう大学とうまく連携を図るとよいのではないかと。	本市は、周辺部を含め25校の大学等がある全国有数の学園都市です。この特性を活かした文化芸術の振興を図るため、方向性 5「ひろげる」に「文化芸術を通じた、大学等と連携したまちづくりに向けた取組」を位置付けています。
3	方向性について	目指す姿の1つとして、「市民が誇れる歴史と伝統文化の継承」と挙げているが、継承に留まらず、文化芸術を後世に「つなげる」ことに力点をもらいたい。後世に文化芸術の力、技術をつなぐとともに、同じ志をもった人・団体ともつながりを広げることで、多角的で幅の広い文化の形成ができるのではないかと。	これまで培ってきた歴史や伝統文化を後世につないでいくことが継承であり、重要なことと捉えています。伝統文化などを後世につなげていくためには、文化芸術活動をする人とそれを支援する人の双方の育成が重要であると考えており、方向性 2「そだてる」に後継者及びサポーターの育成を位置付けています。また、文化芸術活動によるつながりを支えるため、方向性 1「ささえる」に、市や市民、企業など多様な主体が文化芸術活動を行う取組を推進することとしています。
4	取組例について	八王子では多くの方が文化芸術活動を行っている。そうした活動についても広く知らせてもらいたい。	文化芸術活動やその魅力を多くの方に知ってもらうことは大変重要であり、方向性3「つたえる」にその取組を位置付けています。年代や属性を考慮してターゲット層に情報が届くような発信のほか、デジタル技術を活用し、文化芸術を気軽に楽しめる機会の提供などを推進していく計画としています。
5	取組例について	方向性1「ささえる」の主な施策1-(2)「身近な場所で気軽に発表ができる機会を提供します」の取組例は、ロビーコンサート以外にないのか。何か別の取組も検討できると良いのではないかと。	ロビーコンサートは、取組の一例として掲載しています。他にも、身近な場所で気軽に発表ができる機会を提供できるよう、幅広く取り組んでいく計画としています。
6	取組例について	芸術活動を行う市民が、八王子の地で活躍できる環境づくりにも配慮をしていただきたい。例えば、学生や社会人が活動	文化芸術活動を行う市民が活躍できる環境づくりとして、計画では、適時に行う改修工事により施設を快適に利用できるようなことや、

		場所として会場を予約する際にも使用料や予約手続き等の点で手軽に利用できるような仕組みがあるとよいと思う。	施設情報の充実による活動場所の確保につなげる取組などを位置付けています。また、すでに行っている取組として、施設予約システムの改修により利便性を高めたほか、市内在住の方と市外在住の方で予約開始日に差を設け、より市民の皆様が利用しやすくしていることなどが挙げられます。
7	取組例について	郷土芸能の学習は小4と聞いたが、育むのは早い方がよいので小3の郷土学習の中で桑都の杜や西川古柳座の車人形等の伝統芸能に触れられるようにするとよい。ユースオーケストラなどの芸術体験の場も今後も大切にされるとよい。	子どもが文化芸術や伝統芸能に触れる機会を持つことは大切なことと考えています。市内の小学校では、各校の年間指導計画に基づき、6年間で体系的に郷土学習を行っています。そのため、各学校の方針により、体験学習の実施時期等は異なります。一方で全校共通の取組として、八王子の郷土・歴史について学ぶための教材として副読本を教育委員会が独自で作成しており、子どもたちの地域文化への関心を高めるきっかけとして活用しています。芸術体験の場の提供なども含めて、小中学校や関係団体などと連携を図りながら、取組を推進する計画としています。
8	取組例について	夢美術館に物足りなさを感じている。高尾山麓に自然とも一体化した、しっかりした美術館をつくり、そこを拠点にするといった、具体的な美術館等の整備に関する計画・ロードマップを示してほしい。	方向性4「こたえる」で「文化施設の適切な管理・整備」を挙げています。新たな美術館の設置についてご意見をいただきましたが、現時点では整備の予定がないため、参考といたします。
9	その他	文化芸術ビジョンを作り上げたことを広く市民に知らせてもらいたい。	新たなビジョンをホームページや文化施設などで閲覧できるようにするとともに、概要版を作成して様々な機会を通じて周知を図ります。
10	その他	「桑都の杜」で桑の木にまつわるような何か取組などができると良いのではないかな。	現在、八王子駅南口の医療刑務所跡地では、八王子中央公園「桑都の杜」の整備を進めています。敷地の一部には「桑都」の由来となった桑の木を植樹する予定です。また、「桑都の杜」内に開設予定の「歴史・郷土ミュージアム」では、同所で育てた桑を活用した養蚕や織物等に関連するイベントの実施を検討しています。

【問合せ先】

八王子市 市民活動推進部 学園都市文化課

担当: 榎津、高橋

〒192-8501 八王子市元本郷町3-24-1

電話(直通): 042-620-7409